

## ○ 八尾地区タウンミーティング議事録（概要）

日 時 令和5年10月28日（土）

午前10時から午前11時30分まで

場 所 八尾行政サービスセンター

出席者 65人

### テーマ1 富山市の子育て支援策について（こども家庭部）

#### <主な説明事項>

- 1 「こどもまんなか応援サポーター」宣言
- 2 こども政策にかかる国の動向
- 3 こども家庭部の主な事業

#### 【こども家庭部の説明に対する質問】

- ・ 藤井市長のこどもまんなか応援サポーター宣言について、とても感動しました。ありがとうございます。本気度が伝わってきます。

（国の2030年代初頭の予算規模において、）こども1人当たりの家族関係支出がOECDトップのスウェーデンに達する水準（になるということは）、スウェーデンはとても福祉に力を入れている国ですので、そこが目途なんだと思いました。ただ、具体的に（スウェーデンの予算規模は）どのくらいなんだろうと思いました。

また、私は保育士をしておりましたが、30年前に1.57ショックというものがああり、研修会に行くたびに、今後ますます子どもが減っていく（と言われました。）。30年が経ち、やっと国も動き出し、特に富山市は早くに取り組みましたと思っ感謝しております。

（こども家庭部長）

国の指針では、予算額は3兆円半ば増額すると示され、その規模はトップクラ

スのスウェーデンに匹敵するとされています。今日は国の資料から説明しており、スウェーデンでの具体的な取組については、今日は持ち合わせておらず申し訳ございません。

(市長)

(国の) 財源が示されていないのは、首長としては本当に心配です。財源がないと、基本的には予算措置できないので、税で賄うのか、その他のことで賄うのか、今国会も注視していきたいと思っております。増税の負担が無いように子育て支援を充実させてほしいということが、市長会の国に対する要望の基本的スタンスとなっております。

- ・ 私は何十年も前に子育てが終わっておりますが、ハード面、ソフト面でかなり充実してきており、私が悩んだり苦しんでいたことが非常に改善されてきているなど感じながら聞いておりました。全国的に見て、富山市として特におすすめで、皆さんに喜んでもらえる特徴的な取組がありましたら教えていただきたいです。

また、産後ケア応援室など新しい施策で、実績や評価のようなものがありましたら、わかる範囲で教えていただければと思います。

(市長)

妊娠出産、新生児、乳幼児、幼児、そして児童に至るこの一連において、小さいお子さんや、お父さん、お母さんへ、切れ目のない充実した支援を行っているところが富山市の一番の特徴であり、ここは他市との比較でも随分充実しているように感じております。特に、この全国初の直営型の産後ケア応援室は本当に良い取組で、できれば強化もしていきたいと思っております。昔と違い、大家族の中で誰かが赤ちゃんの面倒を見てくれるという時代ではありませんので、どんどんご利用いただき、育児の悩みや育児疲れ、ノイローゼなどを少しでも解消していただければ良い育児に繋がり、お母さんや赤ちゃんのためにもなると思っておりますので、充実させたいと思っております。

加えて、保育園や幼稚園は、場所さえ選ばなければ100%入ることができます。希望の幼稚園、保育園に入れないということはよくお聞きしており、本当に申し訳ないのですがそのとおりです。ですが、場所を選ばなければ100%入ることができますし、その100%カバーしているということも富山市の大きな特徴です。

また、地域の皆さんのお力もお借りしながらですが、こども会や放課後児童クラブなどへも非常に大きな予算を割いており、充実したものになっています。しかしながら、まだニーズに100%応えきれていないことがあり、要望される方について100%受け入れているというわけではありません。改善の余地はあると思っております。

(こども家庭部長)

地域の住民の方に委託して実施しているこども会について、利用料を無料としているところは、全国でも無いに等しいです。加えて、産後ケア応援室や、(保育園などで急に体調不要となったお子さんを)迎えに行ってお医者さんに連れていき、保育園で預かるというお迎え型病児保育という事業も全国初でした。また、(ひとり親家庭奨学資金給付事業において、)篤志家の方からの寄附による基金により、奨学金として、大学の入学金など学費への支援を行っております。

- 合計特殊出生率が、県(の発表)が出ているのに富山市が発表されていないことが不思議で、いつ頃になるか、上昇または低下しているかだけでもわかりますか。

(こども家庭部長)

富山市は集計中で、おそらく年末か年明けぐらいになり、低下しているかどうかはわかりません。

(企画管理部長)

まず国・県で算出し、そのデータを活用しながら富山市の分を計算していくので、どうしても国、県そして最後に市町村という順番になってきます。こども家

庭部長がお話ししたように、時期については例年ですと年末若しくは年始にはお出しさせていただいておりますので、もうしばらくお待ちいただきたいと思います。

## テーマ2 住宅防火などについて（消防局）

### <主な説明事項>

- 1 住宅防火について
  - ・ 富山市の火災状況と原因
  - ・ 配線器具等の取扱い
  - ・ 住宅用火災警報器の維持管理
- 2 救急出動の現状と応急手当について

### 【消防局の説明に対する質問】

- ・ 家に住宅用火災警報器があり、助けられたことがあります。最近、ピーピーと音が鳴り、主人がこれは交換時期だと（話しており）、どこに行くと（新しい警報器を）購入できるのでしょうか。

また、救急車に遭遇することよくあります。私は、自動車学校で習ったように絶対車を止めますが、車の流れが速いときもあり、本当はどのようにしたらよいのか教えていただきたいです。

（消防局長）

まず警報器がピーピーと音がするのは、まさしく電池切れです。警報器は、お近くのホームセンターや電気屋さんなどに並んでいることが多くありますので、そちらでお探しいただければと思います。

次に、救急車に遭遇した際の対応についてですが、救急隊から、最近道は譲らない方が結構増えてきていると聞いております。救急車のサイレンが鳴って、救急車が向かって来ている車線に自分がいれば、左側に停車してハザードをつけていただくと、この人は救急車に気づいたんだなと救急隊も判断し、それを避け

て通行させていただきます。早く病院に到着できるよう、どうか皆さまのご協力をお願いいたします。

### 【その他意見交換】

- ・ 今週の半ば、NHKで、こども食堂を運営している方々が集まった県の会議(の報道を見ました。)。こどもたちは夏休みに入ると、ご飯が食べられなくなり、かわいそうと常に思います。給食が無いそうで、そんな貧乏な国なのかと思います。こども食堂も子育て支援の一環かと思っており、市からの補助などがあるかお聞かせください。

また、保育士さんは足りていますか。どれだけ子育て支援のこどもまんなかの施策を進めていこうとされても、保育士さんや保健師さんなど、専門家の方が(必要になるので、)人数が足りているのか疑問に思っています。

(市長)

こども食堂に対する支援は、富山市も富山県と共に行っております。ただ、使い勝手が悪いという声が開設者の方から上がっております。先日開催された会議は富山県主催のトップセミナーというもので、私と、こども家庭部長も参加させていただきました。また、事業者の皆さんも参加していただき、問題点等の意見を伺ったと聞いております。いずれにしても、こどもを中心に発足した制度であります。今や地域の方々のコミュニティーを作っていくという交流の場になっておりますので、広い意味で使い勝手の良いこども食堂を作ってまいりたいと思っております。

次に、富山市も保育士さんは不足気味であります。定数何人に対して何人不足しているかという具体的な数字を今日は持ち合わせておりませんが、他市町村や全国的な不足に比べれば、富山市はまだ確保されていると思います。それでも、例えば民間の保育園や保育所などについては、保育士さんなどの専門人材の数が足りないゆえに、定数までこどもを受け入れられないということも散見されております。そのため、保育士さんの雇用については、例えば富山市内のアパート代

金の一部を補助するなど様々な施策を実施しているほか、保育士さんの働く環境整備についても支援させていただいております。今お話しされた、専門人材（の確保の対策を）講じていくことは非常に大事ですので、気を付けてまいりたいと思います。

- 八尾地区にある遊休施設の今後について、市長はどのように考えておられるのかお聞きします。例えば旧八尾行政サービスセンターや、旧八尾中学校と旧杉原中学校の跡地などについてお願いします。

（市長）

旧八尾行政サービスセンターについては、建物の老朽化により居抜きでは使いくらいことから、更地にして跡地を再利用するか、若しくは売却も含めて考えていきます。いずれにしても八尾地区にとって良い形で利用できればということであり、旧八尾中学校や旧杉原中学校跡地についても、民間の利活用も含めて、八尾地域の例えば人口や雇用の増加になるような観点で、住民の方々の意見も伺いながら跡地利用を早急に考えております。そのような要望も伺っていますので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

- 豪雨や台風があった場合にJR高山本線が時々止まります。笹津一富山間に電車を走らせるという話を聞いたことがありますか、計画されていますか。また、国道41号線の楡原一富山間の高規格道路のバイパス工事が進んでいますが、いつ頃に仕上がるか、わかればお聞かせください。

（市長）

高規格道路については、予算次第です。我々はとにかく早く全線開通してほしいと（国に）要望しています。工事箇所は栗山の方まで来ていますので、令和何年に開通するとは言えませんが、そう遠くない将来（と思います。）。予算取りについては、地元の国会議員や県議員の皆さんと協力しながら国に要望しているところで、毎年ある一定の予算がしっかり付いていると認識しております。道路

は繋がらないと経済効果が出ず、利便性も高まらないですが、逆に繋がった途端に一気に経済効果や住民の利便性が高まります。富山市としても一大プロジェクトですので、予算確保にしっかり取り組んでまいりたいと思います。

また、昔は(富山地方鉄道) 笹津線があり、おそらく今のまちづくり(の方針)でしたら笹津線を残してまちづくりを行ったと思いますが、残念ながらそれを復活させることは、行政としては考えておりません。代わりに、笹津―富山駅間は、路線バスが一日70数本走っていて、県内随一の路線バスを誇っております。これを利活用したもので、今年から(運行社会実験を行っている) 笹津発、富山駅行きの急行タイプのバスがあります。これは人が多く乗車するバス停にだけ停まるのですが、この急行タイプのバスと、笹津駅からJR高山本線に乗って、普通列車で富山駅まで行く所要時間は一緒になります。ですから、急行タイプのバスは鉄軌道と同じスピード感があり、多くの人が乗車されるバス停においてはそれだけ利便性が高まったということでもあります。JR高山本線は確かによく止まります。止まった場合の、代替の交通機能として、これからも力を入れていきたいと思っています。

- ・ 私は大長谷の児童生徒の通学(手段の確保)について、7年ほど前から富山市にお願いしております。いろいろと交渉を行い、市長の名前でも(文書にて)返事を受け取っていますが、その内容について全く理解できないことが多くあります。児童生徒の通学をある程度確保しないで、義務教育を行うというのは少しおかしいです。学校を作っても(通学距離が伸びて)通えませんと言っているのです。私は7年前から要望を何回も出しています。できるかできないかだけを論じて、事の本質をしっかりと話し合うことができていません。本質をしっかりと話し、双方の理解を深めた上で、できるかできないかという判断をお願いします。役場と相互理解を得るための話し合いには応じていただけるのでしょうか。それから、7年も経つと教育委員会の担当者も変わっていき、積み上げてきたものが一瞬にしてなくなります。(翌年に)中学生になる生徒がいたので、(八尾地域統合中学

校建設推進協議会)の中でも、どのようにするのかということを早くから申し入れていましたが、(協議会)が解散してしまい、主体が無くなったのであやふやになっている部分があります。相談できる場を作っていただけたらありがたいと思います。

(市長)

富山市役所は市民に開かれていますので、いつでも相談をいただければ真摯に受け答えるものと思っております。それと、今のお話を聞いて時代が変わったと非常に感じます。八尾はとても温かみや地域の力があり、地域全体でこどもを育てるといふ土地柄です。八尾高校や中学校、小学校も含めて分校が昔は多くあり、それはそれで良かったのですが、統合されたり廃校になったりしました。大長谷もそうでした。志望校の小学校や中学校、高校に通うときは、合宿所があったり、親戚の家に間借りしたりして学校へ通っていました。今もそうしているお子さんももちろんいらっしゃると思いますが、そのような力というのは、最近あまり聞きません。今の提案にもありましたが、このような地域の力を借りながらしっかりとこどもを育てていかなければならないと思っています。また、我々は義務教育を提供する義務があります。小中学校においても、富山市の責任においてその器を提供する、あるいは施設などをしっかり維持管理していくという責任があります。そして、県には教員を含めた必要な人員をしっかりと確保していくという責任もあります。憲法で定められている義務教育について、保護者も、我々市役所も、小中学生のためにしっかりと義務をお互いに果たしていくということは非常に大事だと私は常々考えていますので、こうしたことも含めて、地域の方々しっかりと教育や通学について話し合いをしていきたいと思っています。

- 市長を応援したく、一つ提案をします。旧国道8号線の上に呉羽丘陵フットパス連絡橋ができ、富山市としては新しい観光スポットができつつあります。城山側の(フットパスの整備)も一生懸命行っておられる最中ですが、(旧富山観光ホテル)のあたりは広いので、こちらに富山迎賓館なるものを建てると、市役所



の展望塔からは見えない呉羽山の西側が見えるようになり、同時に立山連峰や富山湾を眺めることもできるようになります。富山市は（富山県の）4割以上の面積を占めていますし、15首長のリーダー役になるという意味でも、少し突飛なアイデアかもしれませんが、橋だけではなく何か面白いものが一つあると（良いと思います。）。県と協力するという方法も考えられますし、財力があれば富山市単独でも（建設すると良いと思います。）。又は、15市町村で考えた迎賓館的なものを建てると、富山の観光は面白いことになるのではないかと思います。

（市長）

迎賓館は面白いので、様々な場面で、このような意見があったという発言をさせていただきたいと思います。旧富山観光ホテル跡地ですが、実を言いますと今年度中に民間事業者の公募・選定を行い、広場整備をしていこうと考えております。Park-PFIという、こちらから必要な条件を提示し、民間事業者から提案を受け付け、民間事業者が公園の整備や維持管理をしていくという手法です。（民間事業者からの提案として）今お話しされたようなアイデアも期待しています。例えばカフェや芝生広場なども含めて、眺望を生かしたような広場整備を（今後、官民連携により）行っていきますので、県民や市民、観光客にとっても良い場所になると考えております。ただ、工事は令和8年夏ごろに完成する予定ですので、しばらくは橋りょうが架かっているだけのようなイメージになります。また随時お知らせしていきたいと思います。

※ 発言の一部を整理して掲載しています(広報課)